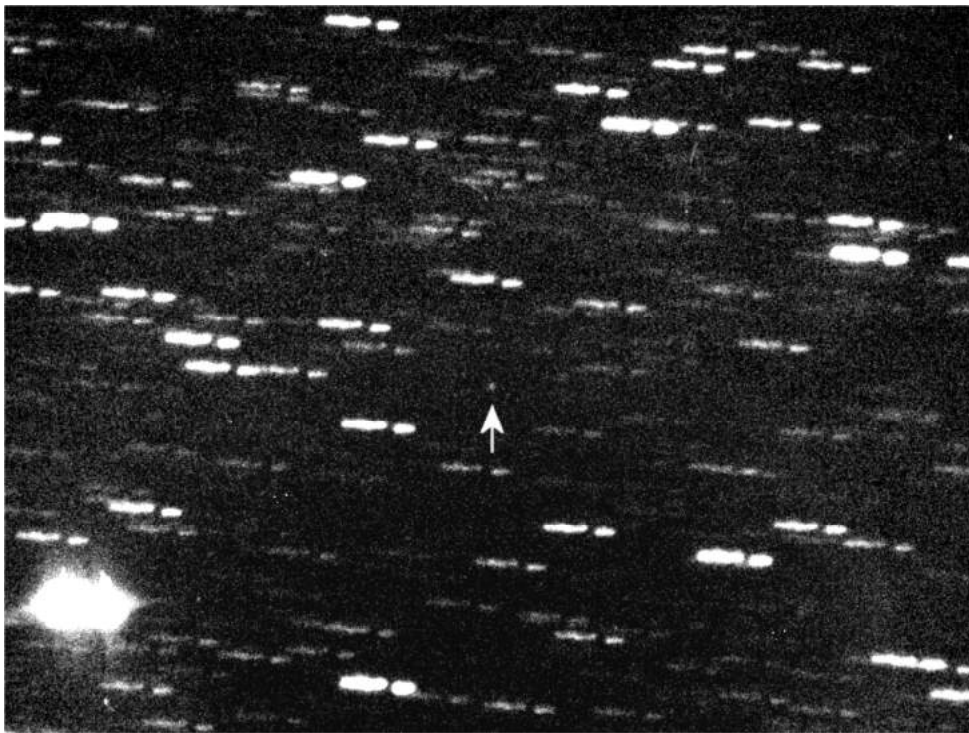


## 報告:はやぶさ 2 が目指す、小惑星「リュウグウ」の撮影に成功

かわさき宙と緑の科学館では、去る 8 月 4 日（木）の夜に、日本の小惑星探査機「はやぶさ 2」が目指している小惑星「リュウグウ」の撮影に成功しました。

小惑星「リュウグウ」は、現在地球から約 6 千万 km の彼方にありますが、地球との位置関係が良く、「はやぶさ 2」を打ち上げた宇宙航空研究開発機構（JAXA）のプロジェクトチームや、日本公開天文台協会（JAPOS）がその観測を呼びかけています。ただその明るさは約 18 等級で、川崎市内でかろうじて夜空で見える 3 等星よりも約 100 万分の 1 と非常に暗いため、市街地に立地した当館での観測は難しいと予想していました。しかしながら、天体望遠鏡の追尾機能や、新たに導入した天体観測専用の撮影装置（冷却 CCD カメラ）を駆使することで、その像を捉えることができました。

地球と同様、太陽の周りを公転している「リュウグウ」は、見かけ上、背景の星（恒星）に対して動いていきます。「リュウグウ」の暗い光をなるべくたくさん捉えるために、撮影は「リュウグウ」の動きに合わせて望遠鏡の視野を移動させて撮影しました。このため、得られた画像では、背景の星が線状になり、「リュウグウ」はほぼ点状に写っています。



**写真:川崎で撮影した小惑星「リュウグウ」(矢印の先の光の点)**

※位置は、わし座の方向。小惑星に合わせて追尾しているため、背景の星は線状に流れて写っている。

撮影日時： 2016 年 8 月 4 日（木）

20 時 49 分～54 分、20 時 57 分～21 時 2 分、21 時 3 分～8 分

各 5 分露出の 3 枚の画像を重ね合わせ

撮影機材： 当館 3 階アストロテラスの 30cm 反射望遠鏡に冷却 CCD を設置して撮影